

それでは、親たちが抱く 2 番目の問いについてです。子どもの認知発達、社会的能力ならびに社会協調性について、保育が直接、間接にもたらす影響はなんでしょうか？ 私たちは、生後 3 年間に受ける保育の経験と子どもの認知的ならびに言語的発達、就学レディネス、問題行動、素直さ、友達関係の関連について分析を行いました。

表 4 は認知発達の結果を示しています。生後 24 カ月および 36 カ月時における発達結果は、認知ならびに言語的領域に認められました。また、表 5 は社会的分析です。結果は、保育時の非従順性、保育者の報告による問

題行動について関連が見られました。子どもの社会的適応性、問題行動についての母親からの報告は表 5 には示されていませんが、分析結果には含まれています。

分析でわかったのは、認知的ならびに社会的発達のいずれについても、家族の特徴が一貫して子どもの発達に関係していたということです。一方、保育の回数などの保育の特徴と子どもの発達結果はそれほど合っていないでした。統計上有意な保育の特徴による影響があったとしても、それらは家族の特徴より度合いが小さいのです。つまり、保育の特徴よりも家族の特徴の方が、子どもの発達結

表4

生後24カ月と36カ月における家族と保育に関する予知因子と認知発達との関係

予知因子	生後24カ月			生後36カ月		
	MDI※2	語彙に関するCDI※3	センテンスに関するCDI	就学レディネス (by Bracken)	言語表現 (by Reynell)	語彙聴取力 (by Reynell)
家族	母のPPVT※1		*(+)	*(+)	*(+)	
	所得		*(+)		*(+)	*(+)
	家庭の質	*(+)	*(+)		*(+)	*(+)
	妊娠時の胎児への刺激	*(+)			*(+)	*(+)
保育の質	保育園に預けている回数	*(+)	*(+)	*(+)	*(+)	*(+)
	家庭保育の回数	*(+)				*(+)
	モデル1: 積極性のある保育	*(+)		*(+)	*(+)	*(+)
	モデル2: 言語的な刺激	*(+)	*(+)	*(+)		*(+)

※1 PPVT: Peabody Picture Vocabulary Test
 ※2 MDI: Mental Development Index
 ※3 CDI: Communicative Development Inventory

表5

生後24カ月と36カ月における家族と保育に関する予知因子と、自己統制力、従順さ、問題行動との関係

予知因子	保育時に従順でない		問題行動(保育者の報告による)	
	生後24カ月	生後36カ月	生後24カ月	生後36カ月
家族	所得			*(-)
	母親の適応性		*(-)	*(-)
	マザーリング		**(-)	***(-)
保育	量		**(+)	
	開始年齢		*(+)	
	質		*(-)	**(-)
	保育の条件が安定している グループケアの条件が安定している	*(+) **(-)		

※1 PPVT: Peabody Picture Vocabulary Test
 ※2 MDI: Mental Development Index
 ※3 CDI: Communicative Development Inventory